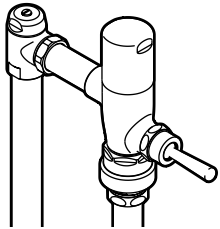
節水形
大便フラッシュバルブ

商品の機能が100%発揮されるよう、
本説明書の内容を十分ご理解のうえ
正しく施工してください。

CF-1610型
CF-1614型

安全上のご注意（必ずお守りください）

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。
施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●この説明書は、同梱の「取扱説明書」とともに施工完了後、お客さまにお渡しし、保管頂くよう依頼してください。
●この説明書に書かれている注意事項は必ず守ってください。不適切な施工により事故が生じた場合は、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

用語および記号の説明

記号	説明
⚠警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。
禁止	この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。
指示実行	この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。

⚠警　告

禁止

強い力や衝撃を与えないでください。
※故障・水漏れの原因になります。

凍結の恐れがある場所では、必ず凍結防止を行ってください。
※故障・事故・水漏れの原因になります。

本体の通水路には抵抗となるようなオリフィスなどをつけないでください。
※洗浄性能への悪影響や水漏れの原因になります。

⚠注　意

分解禁止

この説明書に記載された項目以外は、分解したり、修理、改造を行わないでください。
※ケガをしたり、漏水・故障・破損の恐れがあります。

指示実行

メッキされた部分にモンキーレンチなどを用いる場合は、メッキを傷付けないように必ず布などをはさんでください。
※メッキがはがれ、ケガをする恐れがあります。

ピストン等の掃除をする際は、止水栓または元栓を閉めてから行ってください。
※水が噴き出し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

空気の混入が考えられる給水配管には必ず空気抜き弁を取り付け、空気が配管内に残らないようにしてください。
※新築や改修工事後、断水復旧後に大量の空気と水が混入して器具に供給されると破損や故障の原因となります。

フラッシュバルブ本体は重たい為、取扱いには十分注意してください。
※落とすとフラッシュバルブ本体や衛生陶器が破損して水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。また、ケガをする恐れがあります。

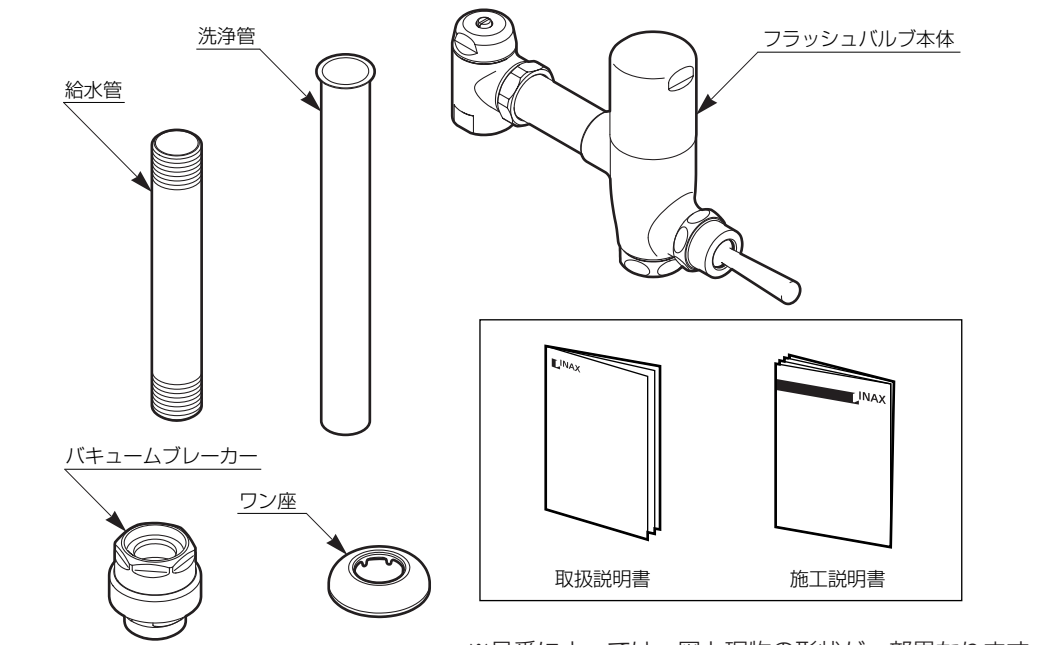
■仕様

品　名		大便フラッシュバルブ
品　番		CF-1610型 CF-1614型
給水圧力	最低必要水圧	0.1MPa（流動時）（瞬間流量1.7L/秒）以上
	最高水圧	0.75MPa（静水圧）
給水口径		25A（ねじサイズ　R1）
使用温度範囲		0～40℃
使用水		上水（ただし品番に「-CSC」がある場合は中水※）

※中水は使用できる水質範囲があります。
詳しくは下記アドレスのホームページをご参照ください。
ホームページアドレス：　http://iinavi.inax.co.jp/products/flush_cs/

■取付け前に

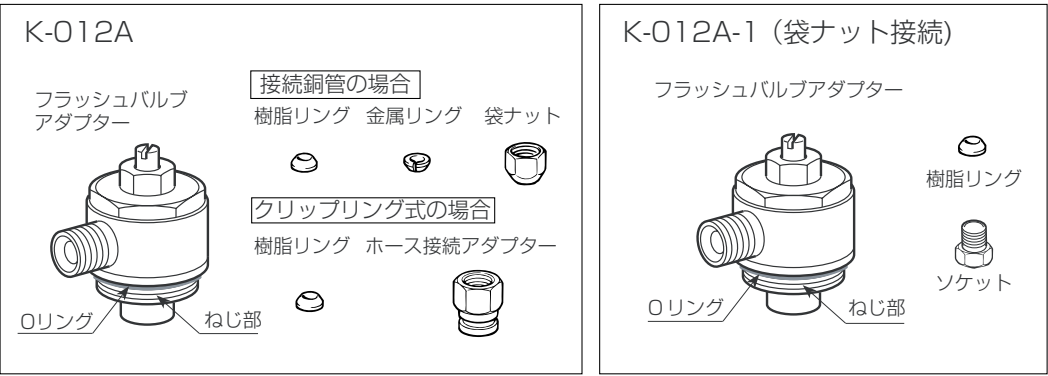
1.部品の確認

次の部品があることを確認してください。

※品番によっては、図と現物の形状が一部異なります。

専用アダプターについて

フラッシュバルブアダプターはシャワートイレを接続するための部品です。
シャワートイレを接続する際は、下記の専用アダプター（別売）をご利用ください。

K-012A

K-012A-1（袋ナット接続）

※施工方法はフラッシュバルブアダプターの施工説明書をご参照ください。

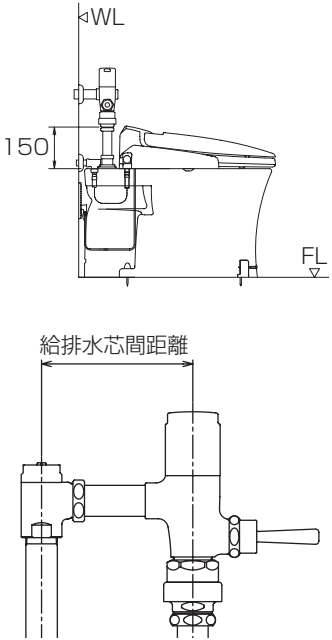
2.施工前のご注意

●**フラッシュバルブを取付ける前に、必ず配管内のゴミ・砂・水垢・配管用接着剤等の異物を完全に洗い流してください。**
●フラッシュバルブ本体は、垂直になるよう取り付けてください。
●バキュームブレーカーの高さは、便器上面より150mm以上の位置に施工してください。（右図参照）

●通水検査をしていますので、水が残っている可能性がありますが、商品に問題はありません。
●各接続部は、漏水がないように確実に接続してください。
●上水仕様は上水道以外に接続しないでください。
機械内部の腐食により、皮膚の炎症の原因になります。
※上水以外で使用する場合は中水仕様をお使いください。
詳細は「仕様」をご参照ください。
●給排水芯間距離
壁給水は120mm、床給水は156mmです。これ以外の芯間距離の場合は、現場に合った芯間変更ユニオンをご購入の上、施工前にお取替えください。
（100～220mmまで対応可能）

株式会社INAX
●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センター　商品相談窓口
ナビダイヤル　TEL 0570-017173

受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日　10:00～18:00
（年末年始、夏期休暇は除く）

※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などでご利用になれない場合があります。
TEL 0562-31-0793 をご利用ください。

■完成図

■壁給水
CF-1610R7J + C-P15Sの場合
(単位：mm)

■床給水
CF-1614R7 (156) + C-P15Sの場合
(単位：mm)

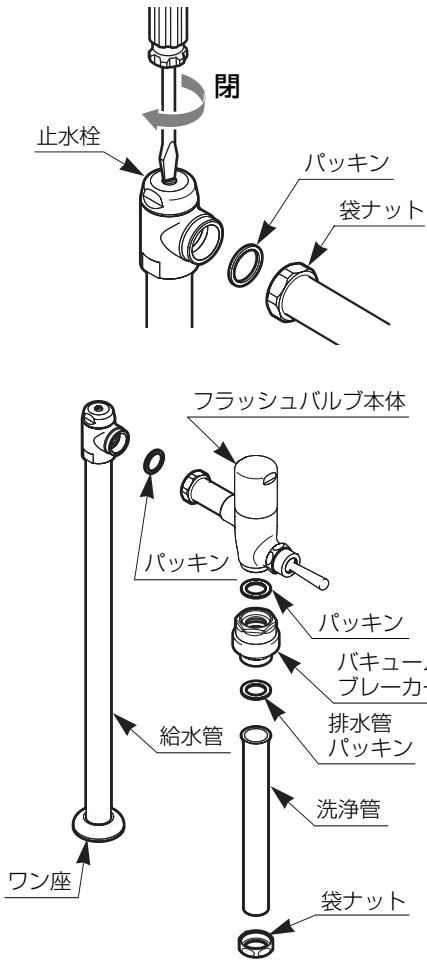
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

■各部のなまえ

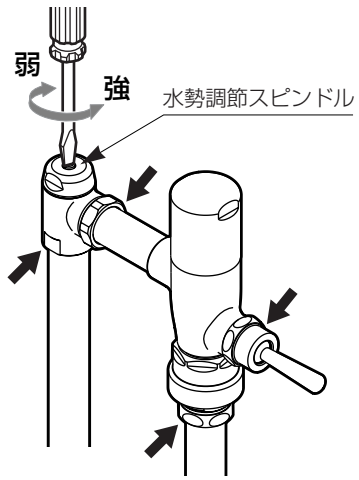
■施工方法

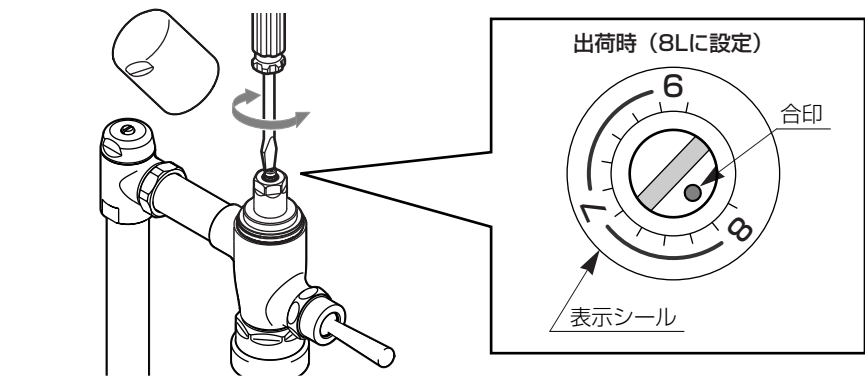
1 フラッシュバルブの取付け

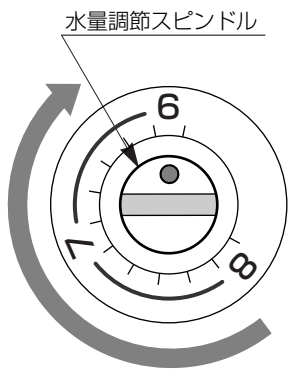
注　意
取り付け前に、必ず配管内のゴミ・砂などを完全に洗い流してください。

①給水管にシールテープを巻きワン座を取り付け、所定の位置に接続します。
②止水栓をフラッシュバルブ本体から外し、給水管に取り付けます。
　※この時、袋ナット部のパッキンをなくさない様に注意してください。
③止水栓をマイナスドライバーで閉めます。
④フラッシュバルブ本体から袋ナットと排水管パッキンを外し、バキュームブレーカーを取り付けます。
⑤洗浄管に袋ナットを通し、排水管パッキンを入れバキュームブレーカーに取り付けます。
　※洗浄管が長い場合は、切断して調節してください。
⑥フラッシュバルブ本体と止水栓を接続します。
　※接続する際、パッキンが入っていることを必ず確認してください。水漏れの原因になります。

2 水勢の調節・水漏れ確認

※調節前に、便器の施工説明書にある水勢を確認してください。
①水勢調節スピンドルが閉まっていることを確認し、元栓を開けてください。
②ハンドルを押しながら水勢調節スピンドルを開け、水勢を調節します。
※一度ハンドルを押しそのまま押し続けると、水は止まってしまいます。数回押して流し調節してください。
③水勢の調節
　使用場所の水圧、配管条件により水勢が変化しますので、水勢調節スピンドルを回転させて適正な調節をしてください。
　右に回転…水勢が弱くなる
　左に回転…水勢が強くなる
④この時、水はねがなく、洗浄水が鉢全体に回り、接続部（右図矢印）や、フラッシュバルブ本体に水漏れなどの異常がないことを止水時と流水時にご確認ください。

弱　強　水勢調節スピンドル

3 洗浄水量の調節

水圧（0.1MPa）以上が確保されていることを確認のうえ、化粧キャップを外し、表示シールを参考にしながら水量調節スピンドルをマイナスドライバーで設定します。

水量調節スピンドル

水量調節スピンドルを右（時計方向）に回します。

注　意
●表示シールの数字は目安です。水圧などによって前後しますので、便器洗浄を数回行い、確実に洗浄できるかを確認し、適正な洗浄水量に設定してください。
●水量調節スピンドルは、1回転（8→6の範囲）以上回さないでください。
　1回転以上回すと表記の洗浄水量が確保できなくなります。
※元の位置がわからなくなった時
　水量調節スピンドルを反時計回りにいっぱいにし、時計回りに戻した時の1周目に合印と表示シールの数字が合う位置が正常な位置です。

■施工後の確認

取付けが完了した後、次の項目を確認してください。

①②③⑤フラッシュバルブ本体
①②④止水栓
②バキューム
ブレーカー
②給水管
②洗浄管

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。
①フラッシュバルブ本体、止水栓はしっかり取り付いていますか？
→「■施工方法　1 フラッシュバルブの取付け」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。
②接続部は、しっかり締めていますか？
→「■施工方法　1 フラッシュバルブの取付け」参照

洗浄水量の確認

洗浄水量が少ないときや、設定通りの洗浄水量が出ない場合は、次の項目を確認してください。
③洗浄水量は正しく設定されていますか？
→「■施工方法　3 洗浄水量の調整」参照
④止水栓は開いていますか？
→「■施工方法　2 水勢の調整・水漏れ確認」参照
⑤ピストンにゴミつまりはないですか？
→ピストンを掃除します。
　掃除方法は取扱説明書「お手入れ方法」を参照してください